

レース終盤。懸命に腕を振る

力まないよう注意する序盤



男子400m(第一位) 51秒18)
 上田 悠人(1分02秒58)
 男子200m(第一位) 21秒85)
 上田 悠人(28秒05 **自己ベスト**)

ニンジニアスタジアム

令和6年度愛媛県高等学校総合体育大会
 陸上競技中予地区予選会
 5月3〜5日

インターハイへの第一関門

MATSURO
T&F通信



Vol.152
R6.5.10

高校生運動部員の憧れ、インターハイ。その第一関門となる中予地区予選が、さわやかに晴れ渡る青空の下、開催された。皆この日の為に技を磨き、体を鍛えてきた。上田もまた、1分を切ることを目標に、スタートダッシュや接地の踏み込みを繰り返し練習し、筋力と心肺機能を鍛えてきた。今回は後半に体力を残すためにかみのないスムーズな加速の工夫をしてきた。後半苦しくなってきたが意識的に腕を振り、なんとか足を動かしたが1分を切ることはできなかった。しかし上田は下を向かない。次こそはと立ち上がり、練習を積んでいる。その努力が壁を打ち破ると信じて。



破れ!
1分の壁